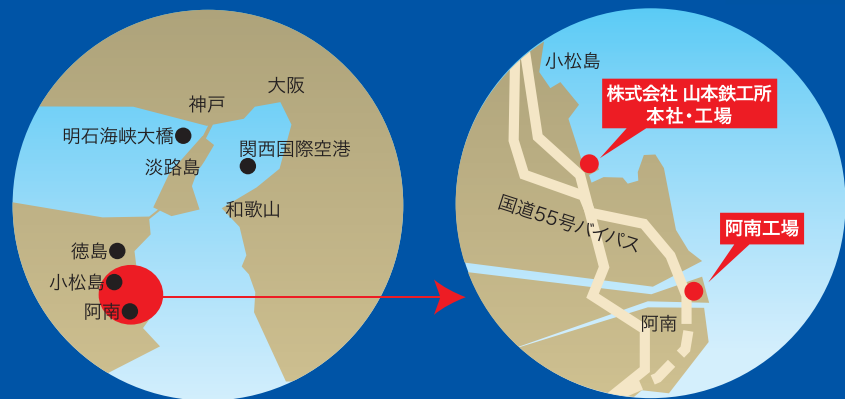


YAMAMOTO CORPORATE PROFILE



 製造・販売 株式会社 山本鉄工所

〒773-0007 徳島県小松島市金磯町8番90号
TEL.0885-32-1760 FAX.0885-33-0227
<http://www.yg.byf.co.jp>
E-mail:yama-c@poem.ocn.ne.jp



人と環境に配慮した機械づくり。

それが私たちに与えられた使命です。

1917年、船舶エンジンメーカーとして創業以来、常にユーザーの要望に応えることのできる最高の品質を提供するよう努力を重ねてまいりました。

それは、90余年の年月を経た現在でも変わることなく、私たち山本鉄工所の根底を流れる精神として息づいています。

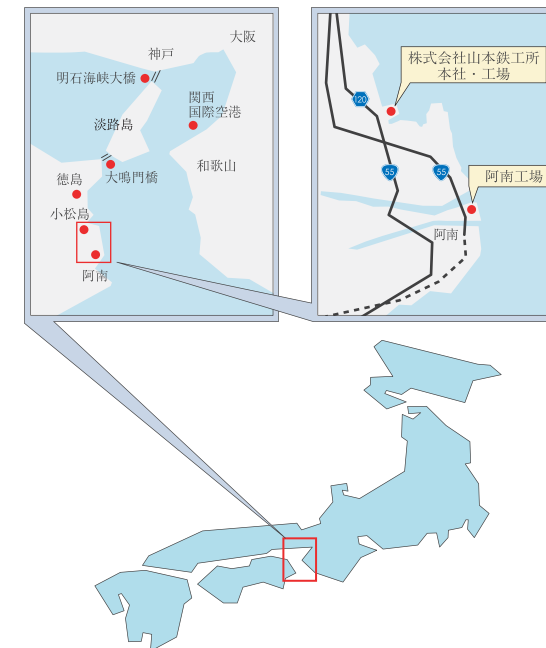
この間に得た貴重な技術・経験・情報をもとに、劣悪な労働環境を改善し地球環境に対する負荷を軽減できるように機械の開発・改善を繰り返すこと、またその成果を通して地域社会に貢献していくこと。それが私たちに課せられた大きなテーマです。

常に新しい価値を求め、機械開発の理想郷である“メカトピア”を創造していくために、これからも私たちはたゆまぬ努力を続けてまいりたいと思います。



会社概要

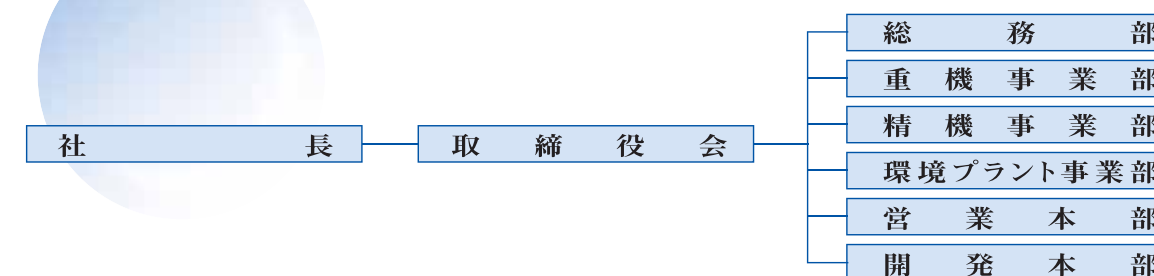
- 創業 大正6年
- 設立 昭和37年
- 資本金 7,000万円
- 代表者 代表取締役会長 山本 紘一
代表取締役社長 山本 知昭
- 従業員 178名
- 取引銀行 阿波銀行、高知銀行、商工中金 等
- 事業内容 各種油圧プレス機・自動省力化機器
廃棄物処理プラントの設計・製造・販売
- 建設業許可 徳島県知事許可(特25)第7572
機械器具設置工事業・管工事業・土木工事業
鋼構造物工事業・塗装工事業・電気工事業



本社工場



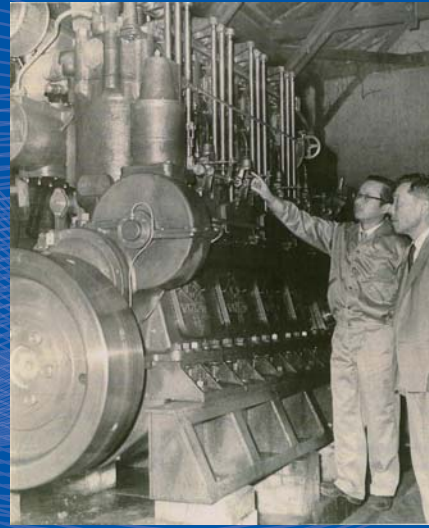
阿南工場



- 事業所 本 社 / 〒773-0007 徳島県小松島市金磯町8番90号
TEL.0885-32-1766 FAX.0885-33-0227
- 高松事業所 / 〒769-2101 香川県さぬき市志度中浜907
TEL.087-894-7676 FAX.087-894-7671
- 東京営業所 / 〒104-0051 東京都中央区佃2丁目18番4-101号
TEL.03-3533-2033 FAX.03-3533-2035
- 大阪営業所 / 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目6番30-304号
TEL.06-6301-6442 FAX.06-6308-3609
- 工 場 本 社 工 場 / 〒773-0007 徳島県小松島市金磯町8番90号
敷地面積15,091 建築延面積7,316
- 阿 南 工 場 / 〒774-0001 徳島県阿南市辰巳町1番8号
TEL.0884-21-0033 FAX.0884-21-0039
敷地面積46,757 建築延面積9,861
- 精機事業部 / 〒773-0007 徳島県小松島市金磯町8番106号
TEL.0885-32-3529 FAX.0885-32-4802
敷地面積2,814 建築延面積1,560

企業理念

- 一、常に新しい知見を発見し、需要を創造する。
- 二、より環境破壊を少なくし、ゆとりある生活を手助けする。
- 三、技術的にも市場的にも世界に開かれた会社である。
- 四、社会に感謝し、報恩する。



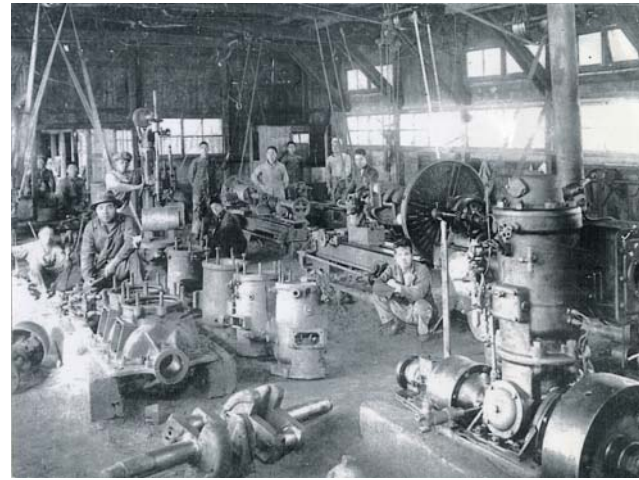
昭和34年 船舶用ディーゼルエンジン



山本鉄工所の歩み

大正 6年 12月 徳島市福島郷町築地(現、新南福島)に個人企業として発足、船舶用焼玉エンジンの製造を開始する

- 昭和 12年 3月 前社長山本隆賀継承する
 昭和 19年 8月 戦災により全焼
 昭和 22年 5月 徳島市新南福島1丁目5の1に再建
 昭和 28年 9月 第1号油圧プレス製造
 昭和 29年 12月 第1号ホットプレス製造
 昭和 31年 12月 有限会社山本鉄工所と組織変更
 昭和 37年 1月 株式会社山本鉄工所と組織変更、資本金450万円
 昭和 40年 2月 4'x8' 2400トンホットプレス製造、同時に製造台数100台を達成
 昭和 40年 7月 脱水成形プレス1号機を完成出荷
 昭和 41年 3月 初輸出、以降各国への輸出を続ける
 昭和 42年 1月 本社・工場を現所在地に移転
 昭和 42年 8月 全自動合板用30段ホットプレス製造
 昭和 44年 1月 4'x8' 300トン成形プレス製造
 昭和 45年 6月 輸出貢献企業として通産大臣より表彰される
 昭和 45年 9月 パーティクルボードプラント1号機納入
 昭和 46年 8月 スクラッププレス製造
 昭和 47年 11月 発明協会より発明奨励賞受賞
 昭和 48年 8月 東工場完成、同年12月事務所棟完成
 昭和 55年 7月 ハイドロシャワー製造、スクラップ関連機械の量産を開始
 昭和 55年 8月 販売会社として山本商事(株)を設立、南工場を買収
 昭和 56年 10月 パーティクルボード生産プラントの製造販売のため東北ホモボード(株)と業務提携
 昭和 58年 2月 合板用APTホットプレス1号機を完成出荷
 昭和 59年 7月 日本で最大級のパーティクルボード用ホットプレスを旧ソ連邦向けに輸出
 昭和 61年 3月 搬送機製造、外注機械加工会社として有限会社山本精機を設立
 昭和 61年 9月 CADシステムを導入
 昭和 62年 12月 創業70周年を迎える
 平成 元年 6月 東工場増設完成
 平成 2年 8月 貿易部門として(株)アプトを設立
 平成 3年 1月 山本精機に自動機事業部を設立
 平成 6年 4月 徳島県阿南市に新工場(総敷地面積46,757平方メートル)竣工
 平成 6年 4月 電子部品製造装置に参入
 平成 8年 2月 産業廃棄物プラントの開発・設計部門として(株)ワイテックを設立
 平成 8年 7月 乾燥プレス「ステップドライヤー」米国特許を取得
 平成 9年 4月 総合プラント事業会社として建設業(特定)の許可を取得
 平成 9年 12月 創業80周年を迎える
 平成 11年 5月 乾燥プレス「ステップドライヤー」木材加工技術賞及び市川記念賞を受賞
 平成 11年 5月 リサイクルプラザプラント1号機受注
 平成 12年 3月 NEDO地域新生コンソーシアムに初採択。以後3年連続4件採択
 平成 12年 11月 二軸破砕機1号機受注



大正12年 操業当初の工場内風景

- 平成 13年 6月 廃プラスチック圧縮梱包機を製造
 平成 14年 4月 液晶ディスプレイ部品製造装置に参入
 平成 14年 12月 廃プラリサイクル新手法、廃プラ直接成形システムを開発
 平成 15年 4月 近年の新技術開発に対し、産業総合技術研究所四国センター賞受賞
 平成 15年 6月 大型スチームインジェクションプレス1号機受注
 平成 15年 11月 グループ企業を「株式会社 山本鉄工所」として統合
 平成 15年 11月 (社)発明協会 発明奨励賞受賞
 平成 19年 5月 経済産業省・中小企業庁による「元気なモノ作り 中小企業300社2007年版」に選ばれる
 平成 19年 12月 創業90周年を迎える
 平成 20年 11月 サーボプレス1号機を納入
 平成 24年 3月 処理量127ton/日の大型リサイクルプラントを完工

主要設備

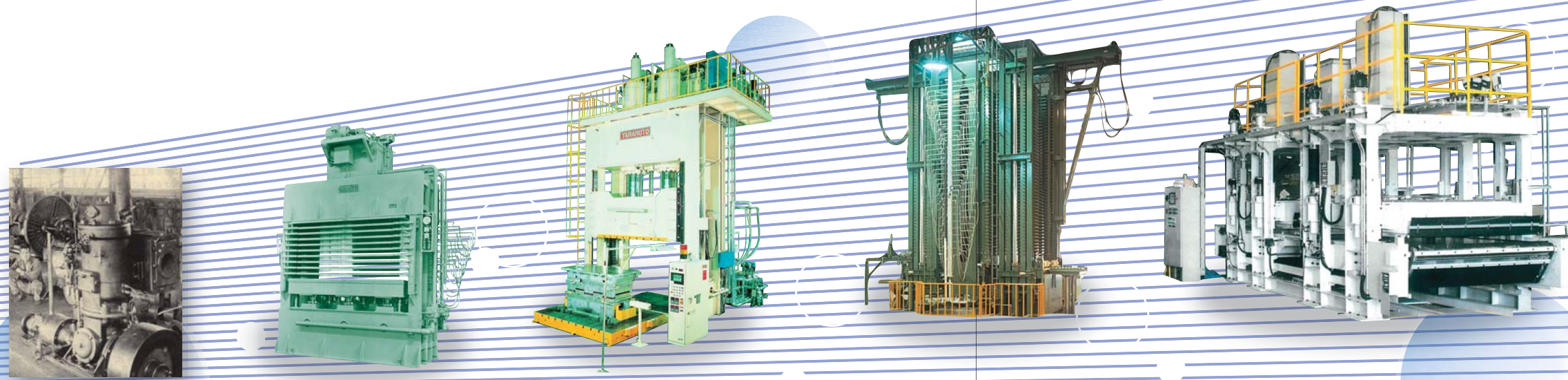
- NC横中グリ盤 BSF-150B型11.5m×4.0m …… 1台
- 汎用旋盤 Ø 1.1m×7.0m …… 1台
- 円筒直線自動溶接機 …… 1台
- NC横中グリ盤 BSF-130B型8.5m×3.0m …… 1台
- NC旋盤 1.2m×6.0m …… 1台
- 歪み取りプレス …… 2台
- CNC横中グリ盤 3.5m×9.0m …… 1台
- 複合プレーナー 2.5m×8.5m …… 1台
- 実験用プレス …… 6台
- NC5面加工機 DMC-10M型8.0m×1.25m …… 1台
- ATCマシニングセンター #6 …… 8台
- クレーン設備 80t …… 1台
- NC5面加工機 8.0m×1.5m×2.5m …… 1台
- CNC中グリフライス盤 …… 2台
- クレーン設備 50t …… 1台
- NC5面加工機 6.0m×1.8m×1.7m …… 1台
- BTA穴あけ機 3軸 …… 1台
- クレーン設備 30t …… 3台
- 円筒研削盤 Ø 1.2m×6.0m …… 1台
- ガンドリル …… 2台
- クレーン設備 1t~20t …… 31台
- 円筒研削盤 Ø 0.4m×3.0m …… 1台



たゆまぬ挑戦で世界を駆ける YAMAMOTO ブランド。



世界 47 カ国に届く信頼と技術!



Challenge

挑戦

Development

発展

Progress

進歩



世界に向けて求められる製品を

山本鉄工所を合板製造用プレス機メーカー国内No.1の地位に押し上げたロングセラー商品「APTホットプレス」など産業用油圧プレスは、他社の追随を許さない信頼できるプレス機として海外を含む多くのユーザーから圧倒的な支持を得て、YAMAMOTOブランドを世界に広めました。

フラッシュドア製造用小型プレスに始まった油圧プレス製造技術は、プレス製造のみに留まらず自動機械、精密機械、廃棄物処理プラントなど幅広い分野で信頼性の高い製品提供の源となっています。

新技術を生む高性能設備

私たちは市場要求にいち早く対応できるよう現状に満足することなく、常に一歩進んだ技術・加工法の実現と安定した製品性能の実現を目指します。そのために、最新鋭の設備を積極的に導入し、優れた設備とそれを使いこなすテクニックを習得、高度な需要に対応することを可能にできました。

常に新しい価値を見つめて。

新市場創造を可能にする新技術、新商品の開発、新分野の開拓。
私達は時代が求める新しい価値を、より速く商品化する努力を続けています。

住設関連プレス装置(建材用プレス)



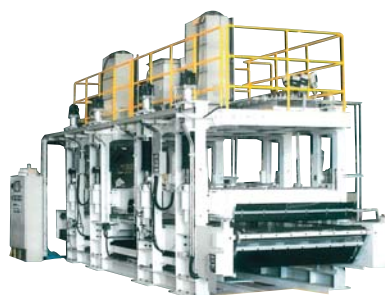
集成材用プレス



LVL用ホットプレス



積層板用ホットコールドプレス



サーボプレス
(金属パネル・ドア、間仕切りの製造)



濾過成形プレス



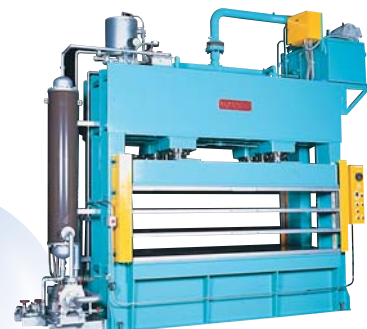
コンペアプレス



実験用プレス(各種加熱圧縮の実験)

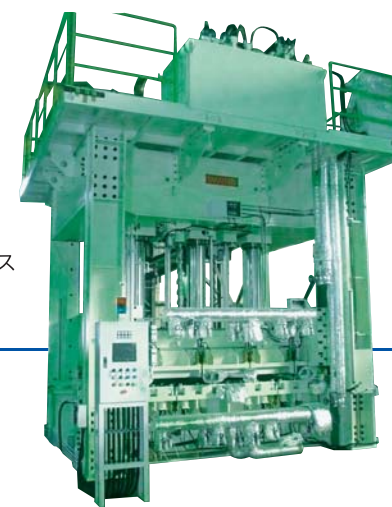


FRP成形プレス
(ユニットバスなどを成形)



オイルヒート式ホットプレス

自動車関連プレス装置



自動車内装材(天井材)成形プレス



ハイブリッドプレス(自動車部材製造)

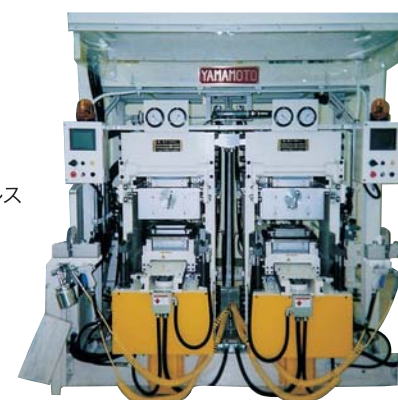


トリムプレス(フェルトやゴムシート類型抜き)

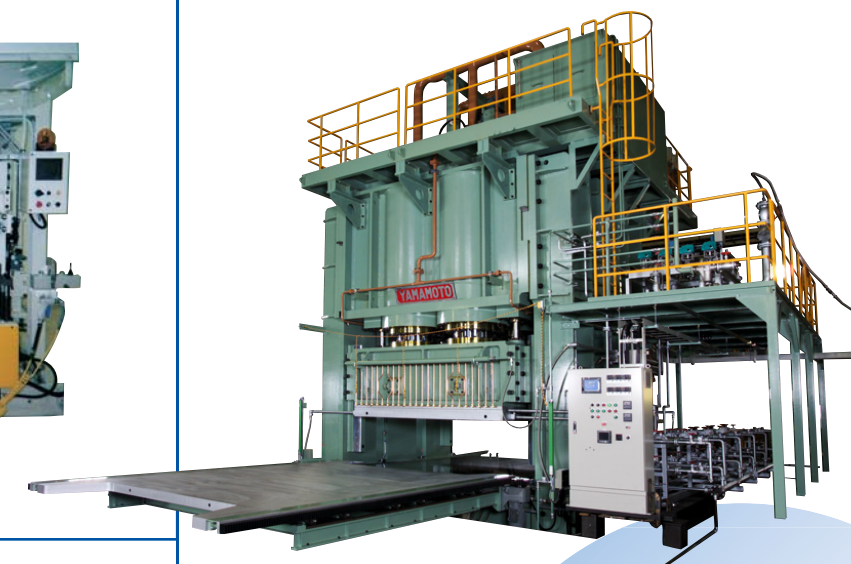


ウレタン発泡パネルプレス(車体パネルの製造)

ゴム・ウレタン関連プレス装置



ゴム加硫真空プレス



大型ゴム成形プレス



断熱パネル製造プレスライン

